

令和6年度
事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人佐賀県産業振興機構

目 次

第1	令和6年度事業体系.....	1
第2	令和6年度事業報告.....	3
1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善 に関する支援（公1）.....	3
2	設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による 経営基盤の強化に関する支援（公2）.....	28
3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図る ことによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）.....	36
4	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の 生活を安定させるための支援（他1）.....	38
5	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために 企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に 関する支援（公4）.....	39
6	農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援 （公5）.....	44
7	その他県産品販売支援に関する支援（他2）.....	52
8	収益に関する事業（収1）.....	54
第3	庶務事項.....	55

第1 令和6年度事業体系

●佐賀県産業イノベーションセンター

所在地：佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸溝114番地

●さが産業ミライ創造ベース

所在地：佐賀県佐賀市白山二丁目1番12号

【公益目的事業1】

公1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援	1	佐賀県ネクストスタートアップ創出事業	人材・経営戦略課
		2	ものづくり企業イノベーション促進事業	人材・経営戦略課
		3	よろず支援拠点事業	人材・経営戦略課
		4	“磨き輝く”さが農村イノベーション推進事業	農村ビジネス振興課
		5	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 (新技術・新製品・知財開発補助事業)	技術振興課 知財支援課
		6	産学官共同研究コーディネート事業	技術振興課 知財支援課
		7	コスメ技術開発・人材育成拠点整備事業	技術振興課
		8	成長型中小企業等研究開発支援事業	技術振興課
		9	単身事業者生産性向上支援事業	ものづくり振興課
		10	賃金UP支援事業	ものづくり振興課
		11	テストマーケティング支援事業	農村ビジネス振興課
		12	Startupの聖地SAGA推進事業	さが産業ミライ創造ベース
		13	産業DXのフロントランナーSAGA推進事業	さが産業ミライ創造ベース
		14	多様な人材確保環境整備事業	人材・経営戦略課

【公益目的事業2】

公2	設備投資支援、取引先拡大支援、人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援	1	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 (販路拡大補助事業)	ものづくり振興課
		2	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 (生産性改善・高度化補助事業)	ものづくり振興課
		3	設備貸与事業	ものづくり振興課
		4	現場力向上・デジタル導入支援事業	ものづくり振興課
		5	中小企業等外国出願支援事業	知財支援課
		6	佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業	総務企画課

【公益目的事業3】

公3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援	1	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業	中小企業勤労者福祉サービスセンター
----	---	---	---------------------	-------------------

【その他事業1】			
他1	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援	1 共済給付事業	中小企業勤労者福祉サービスセンター

●九州シンクロトロン光研究センター

所在地：佐賀県鳥栖市弥生が丘八丁目7番地

【公益目的事業4】			
公4	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援	1 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業	九州シンクロトロン光研究センター

●さが県産品流通デザイン公社

所在地：佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号

【公益目的事業5】			
公5	農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援	1 県産品情報発信力強化事業	国内販売支援G I 国内販売支援G II
		2 県産品情報発信拠点運営事業	国内販売支援G I
		3 さが園芸 888 マッチング支援事業	国内販売支援G I
		4 大都市圏販売力強化支援事業	国内販売支援G II 首都圏販売支援G
		5 物産振興支援事業	国内販売支援G II
		6 県産品 PR・販売促進事業	国内販売支援G II
		7 輸出開拓・促進事業	海外販売支援G
【その他事業2】			
他2	その他県産品販売支援に関する支援	1 協議会と連携した販売促進事業	海外販売支援G
【収益事業1】			
収1	収益に関する事業	1 ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業	国内販売支援G II

第2 令和6年度事業報告

1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援、また、経営革新や経営改善に関する支援を行う。

【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 佐賀県ネクストスタートアップ創出事業
- 2 ものづくり企業イノベーション促進事業
- 3 よろず支援拠点事業
- 4 “磨き輝く”さが農村イノベーション推進事業
- 5 さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（新技術・新製品・知財開発補助事業）
- 6 産学官共同研究コーディネート事業
- 7 コスメ技術開発・人材育成拠点整備事業
- 8 成長型中小企業等研究開発支援事業
- 9 単身事業者生産性向上支援事業
- 10 賃金UP支援事業
- 11 テストマーケティング支援事業
- 12 Startupの聖地SAGA推進事業
- 13 産業DXのフロントランナーSAGA推進事業
- 14 多様な人材確保環境整備事業

【公1個別事業の内容】

（1）佐賀県ネクストスタートアップ創出事業【一千万円：佐賀県補助金】

《担当部署：人材・経営戦略課》

【目的】

スタートアップコンシェルジュを配置し、プレリード期の起業家予備軍の掘り起しから、ビジネスプランの確立等をハンズオンで支援するとともに、その発表の場としてビジネスプランコンテストを開催し、佐賀から世界に羽ばたく意欲のある起業家や中小企業を支援する。

【実績】

① スタートアップ発掘・フォローアップ事業

※本事業は令和6年8月1日付けでさが産業ミライ創造ベース（RYO-FU BASE）へ移管しました。

佐賀県産業イノベーションセンターにスタートアップコンシェルジュ4名を配置。起業経験者やITコーディネータ等、それぞれの専門的知見を活かしてスタートアップを支援した。

具体的には、県内外の支援事業者や支援機関、女性起業家リーダー等との連携によるスタートアップ事業者発掘と情報共有、佐賀県よろず支援拠点創業塾等からのスタートアップ事業者発掘等を行った。

また、さがラボチャレンジカップにおいて、スタートアップコンシェルジュによるエントリーの促進及び支援を実施した。

② ベンチャー交流ネットワーク事業

ア 例会（交流会）の実施

会員数88社で構成するベンチャー交流ネットワークは、令和6年度から役員企業による企画・運営を行い、弊財団は事務局業務を受託する体制に移行した。

例会については下記のとおり開催された。

- ・総会 令和6年5月16日 佐賀市（佐賀商工ビル）
- ・第1回例会 令和6年7月17日 小城市（ゆめぷらっと小城）
- ・第2回例会 令和6年10月30日 佐賀市（本庄公民館）
- ・第3回例会 令和7年2月18日 佐賀市（佐賀県庁・SAGACHIKA）

イ ビジネスプランコンテスト

※本事業は令和6年8月1日付けでさが産業ミライ創造ベース（RYO-FU BASE）へ移管しました。

新しい事業の創出や起業家精神を刺激し、チャレンジ精神あふれる企業育成を図るため、県内で事業化を目指す事業者のビジネスプランコンテスト「さがラボチャレンジカップ2024」を開催した。

（2）ものづくり企業イノベーション促進事業 [13,753,024円／佐賀県補助金]

《担当部署：人材・経営戦略課》

【目的】

社会情勢が大きく変容する中、従来の事業活動からの脱却を模索するものづくり企業に対して、外部のクリエイター等との連携による企業内イノベーションを促し、企業体力の強化を図る。併せて、県内で創作活動に取り組むクリエイターの育成を図る。

【実績】

これまで温めていた「夢」「志」「新たな試み」への挑戦により、資源（製品や技術等）の高収益化や社会的ニーズへの対応を図るために、ものづくり企業が実施する「ものづくり×クリエイティブ」を基本的なコンセプトとした新たな事業活動に要する経費の一部を補助した。

ものづくり事業者	クリエイター等	概要	補助金額 (千円)
清六窯	(株) AGITO	白磁ジュエリーブランド【ROKUTO】の販売促進事業	600
(有)玉喜	PINEBOOKS	佐賀ブランド海苔「一流浜」の販路拡大事業	2,000
(株)深海商店	岩尾 玄樹 壱岐 成太郎 (有)李荘窯業所	ショールーム開設及び陶芸趣味顧客の獲得による売り上げ拡大事業	2,000
耕房 野の風	明日香デザイン	加工品ブランディングによる認知度向上及び売り上げ拡大事業	2,000
武雄観光物産(株)	(株) 日當り	スイーツ部門のリブランディングによる売り上げ拡大事業	2,000
栗山商店	(株) ノザワークス	ホームページ・EC サイト開設による認知度向上及び売り上げ拡大事業	1,513
吉田刃物(株)	(株) ノザワークス	アメリカ市場への園芸刃物の直接輸出のための流通システム構築及びブランディング事業	1,506
(株) 大橋	関光デザイン事務所	販路拡大に向けた製品カタログの刷新事業	530
(株) 塚本製作所	有岡合同会社	電動テレビキャビネットの市場化による販路拡大事業	1,600
合 計			13,749

◇主な経費の内訳：補助金、謝金

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	補助金採択件数	8 件	9 件
成果指標	1年後に3%の売上拡大・認知度向上	—	調査中

【評価】

外部のクリエイターやデザイナーと組むことによって、既存製品や商品の磨き上げや新商品開発等を促進し、採択企業の新たな収益の柱の創出や組織の活性化等において一定程度貢献することができた。想定していた採択企業8社に対して、18社からの応募があるなど、デザイナーとのコラボレーションの要望や必要性に対する県内モノづくり企業のニーズに一定程度応えることができた。

(3) よろず支援拠点事業 [94,670,599円：国受託料]

《担当部署：人材・経営戦略課》

【目的】

中小企業や小規模事業者が抱える様々な経営課題に対する専門的な助言を行うため、「よろず支援拠点」を平成26年6月に当センター内に設置し、事業計画や販路拡大、商品開発、IT利活用など幅広い分野の相談に対応している。

「売上拡大」を第一の目標として、様々な経営課題の相談に対してビジネスパートナーとしてワンストップで支援を行う。

【実績】

中小企業や小規模事業者、創業予定者等の様々な課題に対応するため、国の採択を受け「よろず支援拠点」を佐賀県産業イノベーションセンターに設置し、事業計画や販路開拓、商品開発、IT利活用、デザイナーなど幅広い分野の専門家を配置し、課題解決の支援を行った。

① 相談内容及び業種

チーフコーディネータ1名、コーディネータ51名を配置し、延べ15,297件の相談に対応した。

○相談内容

I T活用（情報発信）	3,863件
広報戦略	1,906件
経営知識	1,866件
事業計画策定	1,187件
販路提案	1,166件
I T活用（内部管理）	1,128件
広告デザイン	1,096件
その他	3,085件
合 計	15,297件

※相談者1名につき複数分野の相談があった際にはそれぞれ1回としてカウント

○相談者業種

1次産業	農林漁業	539件
2次産業	製造業	972件
	建設業	289件
3次産業	サービス業	3,818件
	卸売業・小売業	1,472件
	医療・福祉	550件
	宿泊業・飲食サービス業	571件
	その他	679件
合 計		8,890件

② セミナー開催

経営課題の解決やセミナー受講者を相談事業に誘引することを目的に当拠点のコーディネータや、よろず支援拠点全国本部サポーター等によるセミナーを98回開催した。

【セミナーの内容例】

- ・補助金活用セミナー
- ・Instagram 育て方セミナー
- ・財務諸表の活用方法
- ・フリークリエイターの案件獲得セミナー 等
- ・Canva 活用セミナー
- ・資金繰り表の作り方

③ サテライト相談窓口設置

相談者の利便性向上や新たな相談者の発掘を目的に、サテライト相談所を県内10カ所（唐津市、鳥栖市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、有田町、佐賀信用金庫、佐賀県信用保証協会）設置し、延べ2,033件の相談対応を実施した。

④ 他機関との連携による支援

事業承継引継ぎ支援センター及び中小企業活性化協議会との連携を中心として、商工団体を交えた制度説明会や、金融機関も巻き込んだ合同経営相談会や合同創業相談会などを開催した。

また、日本政策金融公庫新宿支店と九州よろず7拠点合同で「九州移住&起業応援セミナー」を実施した。

◇主な経費の内訳：コーディネータ謝金、旅費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	来訪相談者数及びオンラインでの相談者数	1,000名/月 (年間12,000名)	約1,275名/月 (年間15,297名)

【評価】

システム更新に伴い、令和6年度から相談件数のカウント方法が変更されたため単純比較は出来ないが、多数の経営上の様々な課題を抱える個人事業主や中小企業に対してワンストップかつ無料で相談対応を行い、早期の課題解決に貢献することが出来た。

相談者への満足度調査において、「大変満足」、「満足」との回答が95%を超えているほか、相談者に対して実施している数値管理への意識強化のためのツールを用いた支援についても一定の成果を上げており、全国本部からも高い評価を受けている。

(4) “磨き輝く”さが農村イノベーション推進事業 [22,843,669円/佐賀県受託料]

《担当部署：農村ビジネス振興課》

【目的】

県内の豊富な農林水産物等の付加価値づくりや農山漁村にある資源・魅力を活かしたビジネスを、農村ビジネスとして推進している。

当センター内に「さが農村ビジネスサポートセンター」を設置し、事業計画の策定をはじめ、商品の加工技術や販売戦略、コンテンツのブランディングなど、農村ビジネスに取り組む農林漁業者等の経営改善の取組を支援することにより、トップランナーの創出や農村ビジネスの裾野の拡大を図る。

【実績】**① 農村ビジネスに関する個別相談、支援**

コーディネータ3名を配置し、延べ201件の相談対応を行うとともに、相談内容に応じて、61件のプランナー（専門家）派遣を行った。

(相談内容)

加工製造	66件	33%
デザイン・ブランディング	34件	17%
販売戦略	25件	12%
事業計画	25件	12%
レストラン・カフェ	19件	10%
その他（品質管理等）	32件	16%
合計	201件	100%

(業種別)

農林漁業者	114 件	57%
農業法人	69 件	34%
行 政	5 件	3%
そ の 他	13 件	6%
合 計	201 件	100%

② 研修会・交流会の開催

ア 人材育成研修会「プロに学ぶ！商談会やマルシェでも使えるビジネスマナー研修会」 (8月6日 グランデはがくれ 23名参加)

農村ビジネスに取り組んでいる又は参入を志向する農林漁業者を対象に、マナー研修のプロを招聘し、ビジネスマナー研修会を開催した。

イ 農村ビジネス女子交流会「やる気！元気!!女子カフェ」

(7月12日 シェハイジ 19名参加)

農村ビジネスに取り組んでいる又は参入を志向する農林漁業者の女性を対象に、参加者間の横のつながりを深めるための六次産業を実践している農家レストランにて、交流会を開催。

ウ 異業種ビジネス女子会 (美容×農業) (9月10日 オプティムカフェ 18名参加)

農村ビジネスに取り組む女性農林漁業者と美容系店舗を経営する女性起業家と交流し、互いの経営について学ぶ研修会を開催。

エ 製造機器メーカーへの視察研修会 (12月11日 七洋製作所 12名参加)

製造機器メーカーへ視察に行き、機械操作や焼き上がりなどを直接見るとともに、菓子製造業界の現状について話を聞いた。

オ SNS活用基礎セミナー (1月29日 道の席しろいし 19名参加)

農村ビジネスに取り組む農林漁業者を対象に、SNSを活用した売り上げ向上について学ぶためのセミナーを開催。

カ 魅力的な販売戦略 (2月20日 佐賀県産業イノベーションセンター 23名参加)

農村ビジネスに取り組んでいる又は参入を志向する農林漁業者を対象に、自らの売り上げ向上につながる販売戦略について考える研修会を開催

キ 異業種交流会「専門家とつながる交流会」

(11月25日、グランデはがくれ、33名参加)

農林漁業者と各分野の専門家との交流を図ることを目的に、支援事例紹介と名刺交換会を開催。

◇主な経費の内訳：専門家派遣費、研修会開催費、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	研修会、交流会の開催回数	6 回	7 回
成果指標	農村ビジネスの新たな取組みの増加	15 件	16 件

【評価】

農林漁業者等を対象に、コーディネータによる個別相談や他支援機関と連携した研修会や交流会を開催することで、農村ビジネスに取り組む農林漁業者等の掘り起こしができた。また、新商品開発や販売戦略等の支援を行うことにより、農村ビジネスの新たな取組みが 16 件成立するなど、農林漁業者等の所得向上と農山漁村地域の活性化に繋がった。

(5) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業**① 新技術・新製品開発補助事業 [15,526,231 円 : 佐賀県補助金]**

《担当部署 : 技術振興課》

【目的】

県内ものづくり中小企業が行うDX、GXの実現に向けた新技術・新製品の開発や基盤技術の高度化への挑戦を中心とした研究開発に要する経費を補助する。

【実績】

企業名	概要	補助金額 (千円)
理研農産化工(株)	佐賀県産小麦のオリジナル製粉技術の開発 【GX】	2,366
(株)一新堂	箱成型箔押し技術によるエンボスを用いた立体装飾貼箱と細微性の高い印字技術の開発による分納サービスの提案【DX】	6,003
(有)みのり農場	人の健康度向上を実現する乳酸菌発酵組成液の開発【GX】	1,117
(株)大慶	ユーザライト製調理器の開発【GX】	1,286
(株)KMTec	高温・低温対応マンガン酸リチウムイオン電池セルの開発基盤技術の確立【GX】	0 (辞退)
(株)ルネシス	様々な廃棄物を燃料源とする農業用ビニールハウス向け加温機の開発【GX】	4,751
合計		15,523

※主な経費の内訳 : 補助金 15,523 千円

【指標】

R 6 活動指標：支援 3 件以上

実績 6 件（ただし、1 件は採択後に自己都合により補助事業辞退）

R 6 成果指標：支援案件の 50%以上が技術課題を解決又は 5 年以内に製品化

実績 37 件支援し、事業化等 9 件（24.3%）

【評価】

各企業がそれぞれの研究開発の目的を達成し、デジタル化・グリーン化に向けた技術の高度化や新製品開発を進めた。なお、支援した案件については、今後のさらなる研究開発や事業化に向け、引き続き支援していく。

② 知財活用支援事業**ア 特許等出願支援事業費補助金 [1,009,000 円：県補助金]**

《担当部署：知財支援課》

【目的】

ものづくり産業に携わる県内中小企業者等が発明または考案した新技術を保護し事業拡大に活用するために行う特許権または実用新案権の取得に向けた取り組みに係る経費の一部を助成する。

【実績】

県内中小企業者等の日本国特許庁への特許出願に対して支援を行った。

○支援件数 4 企業 4 件（特許 4 件、実用新案 0 件）

企業名	種別	出願件数	補助金額 (千円)
イマリ・ホットエアータービン	特許	1 件	209
農業生産法人グレイスファーム(株)	特許	1 件	273
(有)みのり農場	特許	1 件	242
(株)ルネシス	特許	1 件	285
計 4 企業		計 4 件	1,009

【指標】

○活動指標：補助金採択件数 目標：5 件 実績：4 件

○成果指標：県内中小企業等の日本国特許庁への特許出願：4 件

【評価】

目標 5 件に対して 8 件の交付申請があり、審査委員による厳正なる書面審査の結果 4 件を採択して日本国特許庁への特許出願を支援し、県内中小企業者等が発明した新技術の保護と新技術を活用した事業展開、企業経営力の強化に寄与することができた。

イ 知財開発事業費補助金 [1,498,000 円：県補助金]

《担当部署：知財支援課》

【目的】

ものづくり産業に携わる県内中小企業者等が行う、他者が有する開放特許等の知的財産を活用した新製品開発や生産能力向上に向けた技術開発に係る経費の一部を助成する。

【実績】

当県（佐賀県窯業技術センター）が所有する特許技術を活用した製品の開発、製造を支援した。

○支援件数 1 企業 1 件

企業名	案件	補助金額 (千円)
(株)金龍窯	1 件	1,498
計 1 企業	計 1 件	1,498

【指標】

- 活動指標：補助金採択件数 目標：2 件 実績：1 件
- 成果指標：県内中小企業等の製品開発、製造支援：1 件

【評価】

目標 2 件に対して計 2 件の交付申請があったが、審査委員による厳正なる審議の結果うち 1 件を採択し、窯業技術センターの技術支援を受けながらの偽造防止対策マーク付き製品の開発、製造の試行を重ね、海外展開時の懸案事項であった偽造を防止する対策を講じた製品開発の支援、企業経営力の強化に寄与することができた。

(6) 産学官共同研究コーディネータ事業 [14,349,605 円：佐賀県補助金]

《担当部署：技術振興課、知財支援課》

【目的】

県内企業のニーズと大学等の研究シーズのマッチングを図るコーディネータ機能を整備し、産学官の共同研究等により、新技術の開発及び新産業の創出を目指す。

【実績】

① 産学官連携コーディネータの設置

新技術・新製品開発等を目指す県内中小企業からの相談を受け、国等の競争的資金への提案やプロジェクト推進等に関するアドバイスやコーディネータを行った。

ア プロジェクト相談・推進等 延べ148件

【内容】・技術相談	32件
・プロジェクト・補助金相談	26件
・プロジェクト推進	28件
・シーズ及びニーズ調査	15件
・その他	47件

イ 研究プロジェクトの企画提案支援 11件

・さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 新技術・新製品開発補助事業費補助金	6件
・成長型中小企業等研究開発支援事業	4件
・佐賀型次世代ものづくり投資促進事業費補助金	1件

ウ 表彰制度への推薦等 2件

- ・令和7年度世界に飛びたて佐賀ものづくりびと表彰への推薦 1件
- ・第11回佐賀さいこう企業への推薦 1件

※令和6年度の受賞実績（令和5年度に推薦）は以下のとおり

受賞者：伊藤 謙二 氏（コトブキテクレックス㈱）アームストロング醸造所

② 知財ビジネスマッチング支援事業

大手企業等が保有する開放特許を活用して新製品開発や新事業展開等へと繋げるため、大企業の開放特許の紹介を行う知財ビジネスマッチングセミナーを開催した。

- 日時：令和6年12月6日
- 場所：ホテルグランデはがくれ
- 参加人数：48人
- 内容：開放特許の活用方法について

③ 知的財産普及・啓発事業

知財に馴染みの薄い就職予定者の認知向上のための出前講座を開催した。

- 日時：令和7年2月3日
- 場所：佐賀県立産業技術学院
- 対象：建築技術・設計課 23人
- 内容：著作権をはじめ建築業務にまつわる様々な知的財産の課題や解決の考え方等について弁理士から解説

※主な経費の内訳：人件費、リース料

【指標】

R6活動指標：研究開発プロジェクトの支援80回 実績148回
知財関連のセミナー開催1回 実績2回

R6成果指標：国や県の補助事業を活用して支援した案件の50%以上が技術課題を解決又は5年以内に製品化

実績 過去5年間で、

- ・サポイン・Go-Tech（国事業）5件で事業化等1件（20%）
- ・きらめく補助（県事業）27件で事業化等4件（14.8%）

【評価】

産学官連携コーディネータを中心に、県内ものづくり企業からの相談対応、共同研究機関のマッチング、補助金申請支援や各種表彰制度への推薦等を行い、企業の技術の高度化や新製品開発に向けた取組を支援できた。支援した企業の取組については、今後のさらなる研究開発や事業化に向け、引き続き支援する。

（7）コスメ技術開発・人材育成拠点整備事業 [45,814,344円：佐賀県委託金]

《担当部署：技術振興課》

【目的】

化粧品に関する新たな技術開発を支援するとともに、美容・健康業界で活躍できる人材を育成する環境を整備し、県内へのコスメティック産業の集積を推進させる。

【実績】

① 次世代化粧品に関する技術開発

化粧品先端技術の研究で実績のある専門家を配置し、佐賀大学の化粧品科学研究講座において県内企業等の技術開発や研究を支援した。

- ・県内企業等との共同研究（目標：6件以上）

実績：13件

- ・県内の地域素材に関する共同研究：2件

- ・コスメ構想推進に寄与する共同研究：11件

② コスメ専門人材の育成環境の整備

コスメ産業に対する高校生の興味関心を高めることを目的にセミナーを開催した。

- ・県内高校生向けセミナー（目標：2回）

「化粧品会社ではたらく人たちに聞く ～コスメ業界へのキャリアガイド～」

（R6年8月9日） 参加人数：105人

（株資生堂、株I-neの方に講演いただいた

- ・「コスメ県SAGA～唐津コスメパークで学ぶSAGAコスメの魅力～」

（R7年3月25日） 参加人数：32人

唐津市のコスメパーク5社（ブルーム・トレミー・岩瀬コスファ・松浦通運・本州印刷）の工場を見学

【指標】

R 6 活動指標：共同研究講座において県内企業等との共同研究 6 件以上

実績 1 3 件

コスメ関連セミナーの開催 2 回 実績 2 回

R 6 成果指標：共同研究の 5 0 % 以上が技術課題を解決

実績 0 件

【評価】

化粧品先端技術の研究で実績のある専門家を中心に、県内企業等と技術開発について共同研究が順調に進捗しており、県内企業等の技術力が向上した。今後の事業化を目指し、引き続き支援していく。

(8) 成長型中小企業等研究開発支援事業 [135,064,928 円：国補助金]

《担当部署：技術振興課》

【目的】

県内ものづくり中小企業が行う精密加工、立体造形、表面処理等の基盤技術の高度化に資する研究開発から事業化までの取組を支援し、企業の競争力強化と新事業創出を推進する。

【実績】

国の競争的資金である当該事業に対し、新製品・新技術を志向する県内中小企業等からの申請、共同研究体の構築等を支援。採択後は、進捗管理や補助金事務を行いながら、研究開発の一貫支援を行った。

① 株式会社唐津プレシジョン（唐津市）【令和 4 年度～ 6 年度】

「振動解析及び刃具解析を用いた次世代型ギヤスカイビングマシンの開発」

- ・ 研究実施機関：(株)唐津プレシジョン、産業技術総合研究所、佐賀大学
- ・ 補助金申請額：9,710 万円（R 4～6 年度合計）

※主な経費の内訳：

令和 4 年度 補助金 25,128 千円、人件費 733 千円

令和 5 年度 補助金 24,035 千円、人件費 1,250 千円

令和 6 年度 補助金 28,858 千円、人件費 916 千円

② 株式会社ゼネシス（伊万里市）【令和 4 年度～ 6 年度】

「地球規模の冷熱資源である海洋深層水の革新的取水技術の開発」

- ・ 研究実施機関：(株)ゼネシス、山口産業(株)、佐賀大学
- ・ 補助金申請額：9,750 万円（R 4～6 年度合計）

※主な経費の内訳：

令和4年度 補助金 44,039 千円、人件費 624 千円
令和5年度 補助金 28,996 千円、人件費 1,236 千円
令和6年度 補助金 21,078 千円、人件費 941 千円

- ③ 中山ホールディングス株式会社（武雄市） 【令和6年度～8年度】
「過酷環境で自律運転とリモートアクセスが可能なマイクロ建機の研究開発によるGXの推進」
・研究実施機関：(株)中山ホールディングス、佐賀大学、(株)リチューナルエナジー
・補助金申請額：9,750 万円（R6～8年度合計）
※主な経費の内訳：
令和6年度 補助金 41,210 千円
- ④ 森鉄工株式会社（鹿島市） 【令和6年度～8年度】
「ファインブランキングプレスにおける油圧制御技術の革新的高機能化によるカーボンニュートラルへの貢献」
・研究実施機関：森鉄工(株)、佐賀大学、佐賀県工業技術センター
・補助金申請額：9,750 万円（R6～8年度合計）
※主な経費の内訳：
令和6年度 補助金 41,269 千円

【指標】

R6 活動指標：国への申請1件以上 実績2件

R6 成果指標：採択案件の50%以上が技術課題を解決又は5年以内に製品化
過去5年間の採択4件で事業化等1件（25%）

【評価】

当該事業に取り組むため産学官の共同研究体を構築し、当財団が事業管理機関となつて支援した結果、支援企業においてそれぞれの研究開発が計画どおり推進できた。今後の事業化を目指し、引き続き支援していく。

（9）単身事業者生産性向上支援事業 [79,679,913 円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

物価高騰等により、収益が悪化している従業員がいない事業者の収益力強化を図る。

【実績】

佐賀県中小企業生産性向上支援補助金、第2弾佐賀県中小企業生産性向上支援補助金として、生産性向上や高付加価値化に資する取り組み135件を採択したが、

補助事業期間中の辞退や廃止により、最終的に補助した事業者は128件、補助金額は68,992千円となった。

	佐賀県中小企業生産性向上支援補助金	第2弾佐賀県中小企業生産性向上支援補助金	計
申請件数	108件	52件	171件
採択件数	104件	31件	135件
最終補助事業者	98件	30件	128件
補助金額	55,170千円	13,822千円	68,992千円

◇主な経費の内訳：補助金、人件費

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	補助金採択件数	127社	135社
成果指標	採択事業者が補助金を活用して生産性向上、高付加価値化に取り組み、収益力の強化・改善を達成		

【評価】

物価高騰等による影響など厳しい経営環境にあっても、前向きにチャレンジしようとする事業者への後押しとなり、売上の向上や収益力の強化に寄与することができた。

また、商工会や商工会議所をはじめとする認定支援機関にも協力を要請したことにより、これまで補助事業を活用したことがない従業員のいない小規模事業者も事業に取り組むことができた。

(10) 賃金UP支援事業 [767,813,372円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

原材料・エネルギー価格高騰や人材不足等厳しい経営環境の中、県内事業者の生産性向上や高付加価値化に資する取組みを支援することにより、収益力の強化・改善を後押しする。また、それにより生み出された収益を労働者の賃金に還元することで、優秀な人材の確保・育成にも繋げ、県内事業者の経営基盤の強化を目指す。

【実績】

県内事業者が生産性向上や高付加価値化に資する取組み727件を採択したが、補助事業期間中の辞退や廃止により、最終的に補助した事業者は707件、補助金額は730,934千円となった。

	佐賀県中小企業生産性向上支援補助金	第2弾佐賀県中小企業生産性向上支援補助金	計
申請件数	577 件	289 件	866 件
採択件数	556 件	171 件	727 件
最終補助事業者	542 件	165 件	707 件
補助金額	568,030 千円	162,904 千円	730,934 千円

◇主な経費の内訳：補助金、人件費

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	補助金採択件数	667 社	707 社
成果指標	採択事業者が補助金を活用して生産性向上、高付加価値化に取り組むことで、労働者の賃金引上げが実現		

【評価】

原材料・エネルギー価格高騰や人材不足等厳しい経営環境にあっても、生産性向上や高付加価値化にチャレンジしようとする事業者への後押しとなり、収益力の強化・改善、それに基づく賃金の引上げ促進に寄与することができた。

また、商工会や商工会議所をはじめとする認定支援機関にも協力を要請したことにより、これまで補助事業を活用したことがない比較的規模の小さい中小企業者等も事業に取り組むことができた。

(11) テストマーケティング支援事業

[12,623,890 円／全国商工団体連合会補助金、自主]

《担当部署：農村ビジネス振興課》

【目的】

参画事業者の商品開発力や販売力の向上を図るため、支援商品のテストマーケティングを大消費地で実施し、消費者ヒアリングの結果等をフィードバックすることにより、継続的な商品開発に役立てる。また、本事業を契機として、事業者自身による「売れるものづくりの仕組み」の構築を図る。

【実績】

①クイーンズ伊勢丹 小石川店

令和6年8月5日～8月18日

出品事業者数 20 社、商品アイテム数 48、売上 248,978 円 (税込)

②紀ノ国屋光が丘 IMA 店

令和6年8月22日～8月30日

出品事業者数 16 社、商品アイテム数 48、売上 413,296 円 (税込)

③ハンズ新宿店

令和6年8月22日～9月4日

出品事業者数 15 社、商品アイテム数 32、売上 94,875 円 (税込)

④AKOMEYA TOKYO NEWoMan 新宿店

令和6年8月23日～9月5日

出品事業者数 20 社、商品アイテム数 48、売上 340,529 円 (税込)

⑤日本百貨店しょくひんかん店

令和6年8月23日～9月5日

出品事業者数 20 社、商品アイテム数 48、売上 118,419 円 (税込)

◇主な予算の内訳：委託費、謝金 等

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	テストマーケティングの開催回数	5回	5回
	テストマーケティングのアイテム数	30商品	30商品
成果指標	参画事業者へテストマーケティングのフィードバックを行い、事業者自身の商品開発力レベルアップ		

【評価】

首都圏で実施したテストマーケティングにおいては、多くの販売実績を記録し、商品の市場性を確認する有意義な機会となったことに加えて、情報発信の効果により認知度が高まり、結果として定番採用へ繋がった。

また、消費者の声をフィードバックしたことにより、事業者の市場ニーズへの理解が深まり、消費者の視点に立った商品開発力や商品企画力の底上げに寄与した。

(12) Startup の聖地 SAGA 推進事業

(13) 産業 DX のフロントランナーSAGA 推進事業 [213, 378, 728 円／佐賀県補助金]

《担当部署：さが産業ミライ創造ベース》

【目的】

DX の推進やスタートアップの発掘・育成を通じ、テクノロジーとビジネスの未来をデザインする。これにより個々の企業や人材に焦点を当てた丁寧な支援を行い、多様性を重視したオープンイノベーションを促進しながら、地域の持続可能な成長を支える新しい価値を創出する。

【実績】

① スタートアップ発掘・フォローアップ事業【RYO-FU BASE】 [17, 762, 420 円]

RYO-FU BASE にスタートアップコンシェルジュ 4 名を設置し、起業経験者や IT コーディネータ等、それぞれの専門的知見を活かしてスタートアップを支援しました。

具体的には、女性起業家向けの交流イベントの開催や、佐賀県よろず支援拠点との共催イベントの実施などを通じて、スタートアップ事業者発掘等を行いました。

また、さがラボチャレンジカップや J300 アワードにおいては、スタートアップコンシェルジュがエントリーの促進や支援を行い、より多くの有望な起業家の挑戦を後押ししました。

さらに、過年度に県の支援事業に採択された起業家に対しては、スタートアップコンシェルジュの人的ネットワークやリサーチノウハウを生かし、ユーザーヒアリングの機会の提供や効率的な情報収集手法を提案するなどのフォローアップを行いました。

【指標】 ※4～7 月分含む

区分	項目	目標	現状
活動指標	スタートアップコンシェルジュによるスタートアップのシード発掘	6 件	16 件

【開催したイベント】

開催日	イベント名	参加者
2024 年 10 月 21 日	miniJ300 in 佐賀	約 50 名
2025 年 1 月 21 日	食品加工業者のための『初めての輸出挑戦セミナー』	約 20 名

【コンシェルジュの支援により受賞したアワード】

アワード名	受賞した賞	受賞者
J300 アワード	後継ぎウーマン賞	五町田酒造株式会社 瀬頭結美
J300 アワード	特別賞	株式会社オヤモコモ 山下千春

② ベンチャー交流ネットワーク事業【RYO-FU BASE】

新しい事業の創出や起業家精神を刺激し、チャレンジ精神あふれる企業育成を図るため、県内で事業化を目指す事業者のビジネスプランコンテスト「さがラボチャレンジカップ 2024」を開催しました。

応募件数 18 件の中から外部専門家等による審査委員会を経て、最優秀 1 社、優秀賞 1 社へ表彰を行いました。

表彰式：令和 6 年 11 月 11 日（ホテルマリターレ創世）

参加者：約 70 名

区分	受賞企業名	テーマ
最優秀賞	一般社団法人 InnoDrops 小山 直子	みらいのイノベーション人材育成支援 DAO 実践プログラム
優秀賞	New Encounter musuBe 濱田 悠菜	創薬研究の発展のためのコミュニティサービスの提供と資金援助

③ スタートアップの聖地 SAGA 推進事業【RYO-FU BASE】 [33,995,873 円]

発掘・育成・スケールアウトまで一貫した支援を実施し、スタートアップの成長を促進しました。

具体的には、「MIXED NUTS BAR」や「SAGA INNOVATORS TALK LIVE」などを通じた、起業家や支援者のネットワークを拡大し、「事業創出連続セミナー」や「ASK!! Professional」などにより、起業家の課題解決支援を実施しました。また、特に成長が期待される起業家 5 名を選定し、個別相談やメンタリング等を実施しました。

【開催したイベント】

開催日	イベント名	参加者
2024 年 8 月 22 日	事業創出連続セミナー	約 15 名
2024 年 8 月 28 日	SAGA INNOVATORS TALK LIVE 2024 SUMMER	約 200 名
2024 年 9 月 3 日	事業創出連続セミナー	約 20 名
2024 年 11 月 13 日	Ask!!Professional vol.1	約 20 名
2024 年 12 月 10 日	MIXD NUTS BAR	約 50 名
2024 年 12 月 10 日	Ask!!Professional vol.2	約 30 名

2025年1月21日	Ask!!Professional vol.3	約30名
2025年2月19日	Ask!!Professional vol.4	約20名
2025年3月19日	SAGA INNOVATORS TALK LIVE 2025 SPRING	約400名

【支援した企業】

事業名	支援企業
Startup Gateway SAGA	株式会社ドリームクエスト、株式会社オヤモコモ、三坂隆太、株式会社徳永製茶、(一社)グローバル人材育成協会

④ ビジネス確立支援事業【RYO-FU BASE】 [26,634,000円]

佐賀県内の企業・起業家を対象に、事業成長を支援する多面的なプログラムを実施しました。

「Startup Connect+ SAGA」では、国内外のビジネスパートナーとのマッチングを支援し、協業や実証実験、販路開拓の機会を創出。また、「Startup Promote+ SAGA」を通じて、全国規模での情報発信やプロモーション支援を実施し、広報・マーケティング力の向上を図りました。さらに、「Startup Assign SAGA」では、成長企業に対して全国からCxO人材をアサインし、長期的な経営支援を実施。加えて、「KVM 出場支援」を通じ、九州・山口ベンチャーマーケットへの出場を支援し、県内企業のプレゼンス向上を図りました。

事業名	支援企業
Startup Connect+ SAGA (一般枠)	千紫万紅、SpoWell Lab(株)、(株)JICU、(株)ボイス、(株)西村商店
Startup Connect+ SAGA (グローバル枠)	Noutje (實松千晶)、千紫万紅、(株)夜未央 (江口学)
Startup Promote+ SAGA (一般枠)	フィッシングパークひらの、(株)HONZAN、(株)SA-GA
Startup Promote+ SAGA (実践枠)	合同会社土壌診断用バイオセンサー研究会、(株)HONZAN、(株)SA-GA
Startup Assign SAGA	(株)JICU、(株)ボイス、合同会社土壌診断用バイオセンサー研究会
KVM 出場支援	(株)SA-GA、(株)ボイス

⑤ 資金調達支援事業【RYO-FU BASE】 [12,261,000円]

「Startup Boost SAGA」を通じ、資金調達支援プログラムを提供。経験豊富なメンターによる個別指導やメンタリングを実施し、ビジネスプランのブラッシュアップや資金調達ノウハウの習得を支援しました。さらに、金融機関等への成果発表イベントを開催し、資金調達の機会を創出しました。

また、ファンドレーザ制度を活用し、クラウドファンディングや金融機関からの融資による資金調達支援を実現しました。

【開催したイベント】

開催日	イベント名	参加者
2024年8月23日	Startup Boost SAGA キックオフ	メンバー限定
2024年10月30日	Startup Boost SAGA リアル合宿	メンバー限定
2025年1月28日	資金調達促進事業セミナー	約20名
2025年2月6日	Startup Boost SAGA 最終ピッチ	約20名

【支援した企業】

事業名	支援企業
Startup Boost SAGA	(株)HONZAN、千紫万紅、しゃしゅしょ(株)

【資金調達した企業（ファンドレーザ制度活用分）】※4～7月分含む

申請者（ファンドレーザ）	起案者	目標額	調達額
(株)オフィスキタムラ	(株)東洋セラミックス	150,000	790,875
(株)イランコッペ	(株)Retocos	300,000	827,000
クラウドファンディング活用 サポートセンター	(株)寿々照	100,000	1,333,750
さぎんコネクト	(株)クラベル・ジャパン	300,000	314,000
クラウドファンディング活用 サポートセンター	(株)SUM RICE	50,000	139,000
クラウドファンディング活用 サポートセンター	アサヒ・アグリ佐賀	100,000	147,300
クラウドファンディング活用 サポートセンター	(株)寿々照	100,000	1,010,730
(株)オフィスキタムラ	(株)東洋セラミック	150,000	577,500
有限会社ジーンズレッド	おさかな家嬉乃 ((株)ウレシノ)	300,000	717,000
(株)SCB イノベーション アカデミー福岡	下園いづみ	1,000,000	1,878,000
合同会社アルバフォレスタ	有限会社ジーンズレッド	200,000	5,789,558
伊万里商工会議所青年部	(株)sueco(素エコ農園)	2,000,000	6,731,500
クラウドファンディング活用 サポートセンター	MEISHO FARM	100,000	354,980
フレル(株)	高平登志子	500,000	6,109,600
(株)JICU	千紫万紅	-	3,500,000
(株)佐賀共栄銀行	有限会社ヤマト水産	100,000	256,608
さぎんコネクト(株)	(株)花祭果実	150,000	193,500
合計			30,670,901

【資金調達した企業（その他）】

調達企業	ファンド	合計調達額
(株)HONZAN、(株)SA-GA、しゃしゅしよ(株)	佐銀スタートアップ応援投資事業有限責任組合第1号	21,000,000

⑥ DX人材拡大推進事業【RYO-FU BASE】 [28,856,780円]

本事業では、県内産業のDXを支えるIT人材の育成・確保を目的に、多様な学習機会と実践の場を提供しました。

「SAGA Smart Samurai X」において開催したプログラミング体験講座には417名が受講し、デジタルスキルの基礎を学ぶ機会を創出。本講座には100名の募集枠に対して199名の応募があり、PythonやSaaS、ノーコードツール等を活用した実践的なカリキュラムにより、即戦力として企業のDX推進に貢献できる人材の育成を強化しました。

さらに、「SAGA Smart Terakoya」では、起業・複業を目指す人々が学びと実践を通じてスキルを収益化できる仕組みを提供。講座やコミュニティ活動を通じて、地域産業とIT人材を繋ぐ仕組みを構築しました。

また、DX推進には個社単位での取組だけでなく、横のつながりが不可欠であるため、「SAGA Smart Community」において、セミナー、勉強会等のイベント支援を実施。県内DX人材が交流・協働しながら成長できる環境を整備しました。加えて、商工団体と連携したITフェアへの協力を通じ、DX推進の機運醸成と啓発活動を行いました。

年度	体験講座 参加者数	本講座 応募者数	本講座 定員	備考
令和3年度	862名	499名	200名	本講座定員を200名に増員。
令和4年度	627名	321名	100名	Smart Samurai、Smart Ninjaを開始。
令和5年度	620名	268名	100名	継続的に体験講座を提供。
令和6年度	417名	199名	100名	体験講座参加者が減少傾向。

【開催したイベント】

開催日	イベント名	参加者
2024年8月30日	Terakoya セミナー2	約40名
2024年9月7, 10, 12, 14	Samurai X 開校式	受講者限定
2024年9月20日	Terakoya セミナー3	約50名
2024年10月25日	Terakoya セミナー4	約40名
2024年11月20, 22日	SSS サポーターズX 交流イベント	受講者限定

2024年11月21日	企業向けセミナー1	約20名
2024年11月22日	Terakoya セミナー5	約30名
2024年12月4日	IT フェア	約500名
2024年12月23日	西九州大学デジタル社会共創学環講義	約20名
2024年12月26日	MEET UP!” Terakoya” vol.1	約30名
2025年1月15,17日	SAGA Smart Samurai X オンライン合同企業説明会	受講者限定
2025年1月31日	MEET UP! “TERAKOYA” Vol.2	約30名
2025年1月26日, 2月17日	バルナーズとのアイデアソン	約30名
2025年2月20日	企業向けセミナー2	約15名
2025年2月22日	フィールドワーク@道の駅厳木	約30名

⑦ 産業DX啓発推進事業【RYO-FU BASE】 [80,167,000円]

佐賀県産業スマート化センターは、地域企業のDX推進を支援するハブとして、個別相談、専門家派遣、セミナー、経営者コミュニティの運営を通じ、企業のデジタル活用を促進し、令和6年度は4,520名の利用がありました。デジタル利活用の個別相談では、DX導入に関する経営者の悩みに対応し、AI・IoT活用、生産性向上、新規ビジネス創出に関する支援を実施しました。

年間1,000社への訪問を行う「DXコミュニケーター事業」では、専門家が直接企業を訪問し、デジタル化の実態把握や助言を行い、DX推進の裾野を広げました。

「DXアクセラレータ事業」では、22社を対象に、専門家が経営課題の整理からDXツールの選定・導入支援までを伴走支援し、実践的なDXの成功事例を創出しました。

さらに、経営者限定コミュニティ「DXアルケミスト事業」では、意思決定の迅速化や成功・失敗事例の共有を通じて、DXを実践する経営者間の連携を強化し、新規事業創出を促進しました。

【佐賀県産業スマート化センター利用者数の推移】

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数(名)	1,488	1,548	2,511	3,148	3,755	4,392	4,520
セミナー・イベント参加者数(名)	697	677	1,335	1,601	1,888	2,581	2,799
相談件数(件)	25	68	143	131	164	157	163
マッチング件数(件)	22	61	126	33	30	30	25

【開催したイベント】

開催日	イベント名	参加者
2024年9月25日	誰でもできる！はじめてのデータ活用セミナー	約30名
2024年9月25日	第1回 SAGA DX リーダーズ	約20名
2024年10月31日	第2回 SAGA DX リーダーズ	約20名
2024年11月15日	マイクロソフト流 変革のプロセス～組織の力を最大化する～	約10名
2024年11月26日	第3回 SAGA DX リーダーズ	約20名
2025年12月10日	参謀BAR (SAGA DX リーダーズ)	メンバー限定
2024年12月23日	事例から探る「DX でできること」～実践者たちのリアルトークセッション～	約20名
2025年1月20日	事業承継者/後継者にて意見交換を行う会①	メンバー限定
2025年1月21日	DX Summit Vol.3	95名
2025年1月21日	参謀BAR (SAGA DX リーダーズ)	メンバー限定
2025年1月29日	第4回 SAGA DX リーダーズ	約20名
2025年1月30日	「DX 認定」の取得メリットセミナー	約60名
2025年2月4日	参謀BAR (SAGA DX リーダーズ)	メンバー限定
2025年2月14日	第5回 SAGA DX リーダーズ	約40名
2025年2月17日	事業承継者/後継者にて意見交換を行う会②	メンバー限定
2025年2月19日	県内企業のITサービス紹介	約10名
2025年3月8日	サガアイディアブレスト in SAGA FURUYU CAMP	約20名

【支援した企業】

事業名	支援企業
DX アクセラレータ事業	有限会社大望閣、株式会社まいづる百貨店、株式会社上場食肉、いきや食品株式会社、有限会社在宅介護お世話宅配便、有限会社清力(尾ノ上旅館)、農業生産法人株式会社 Agrish、株式会社 HONZAN、有限会社丸富産業、株式会社ナンキュウ、株式会社夢を語れ、株式会社 EVERFOOD、株式会社 IMARI、合資会社基山商店、笠原グループ、株式会社佐賀広告センター、株式会社コア、ファームチョイス株式会社、大登建設工業株式会社、九動株式会社、黒田オートテック株式会社、山口産業株式会社、

◇主な経費の内訳：委託費、人件費、謝金、旅費

(14) 多様な人材確保環境整備事業

[103,817,088円：佐賀県補助金(6月補正予算)]

《担当部署：人材・経営戦略課》

【目的】

原材料・エネルギー価格高騰や人材不足等厳しい経営環境の中、県内中小企業等において意欲ある多様な人材が安心して活躍できるような職場環境の整備を支援する。

【実績】

男女別トイレの新設や洋式化改修、空調の更新、休憩室の整備、寮の整備等の取組に関して228件の応募があり、審査により43件を採択した。

◇主な経費の内訳：補助金、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標	現 状
活動指標	補助金採択件数	—	43件

【評価】

外国人技能実習生のための社員寮の整備、高齢従業員や女性従業員確保のための洋式トイレへの改修や男女別トイレの設置、その他従業員用休憩室や更衣室の整備など、従業員向けの環境整備や福利厚生面を充実させる取り組みに対して支援したことにより、多様な人材の定着及び雇用の促進に寄与することができた。

2 設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行う。

【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（販路拡大補助事業）
- 2 さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（生産性改善・高度化補助事業）
- 3 設備貸与事業
- 4 現場力向上・デジタル導入支援事業
- 5 中小等外国出願支援事業
- 6 佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業

【公2個別事業の内容】

(1) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（販路拡大補助事業）

[34,113,618円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

県内ものづくり企業が実施する自社製品や自社技術の宣伝を行う展示会出展等の支援や商談会等を開催し、企業に対する商談やPRの場を支援することで販路拡大を図る。

【実績】

① 販路拡大補助事業

県内ものづくり中小企業者が国内で開催される各種展示会に出展し、自社製品や自社技術の宣伝による販路の拡大を目指す取り組みに対し、経費の一部を補助した。

企業名	展示会名称（開催月）	出展した製品・技術	補助金額（千円）
武井電機工業(株)	名古屋オートモーティブワールド クルマの先端技術展	レーザー加工ユニット【TLF-100】	545
(株)フリーマム	東京インターナショナル・ギフト・ショー	【KIELTシリーズ】【新商品】アロマボックス（2種）	567

企業名	展示会名称（開催月）	出展した製品・技術	補助金額 （千円）
宮島醤油(株)	“日本の食品”輸出 EXPO	醤油、味噌、その他調味品	700
大栄工業(株)	J_AGRI 九州	スクミッチ、スクミッチフード	700
(株)種商	FOOD STYLE Japan 2024	美容フードとしての雑穀米① 美と巡りの黒米雑穀 ②満点 玄米	289
(有)ミマツ工芸	東京インターナショナル・ ギフト・ショー	インテリア小物	350
(株)中村電機製作 所	プラント EXPO 2024（メン テナンス・レジリエンス TOKYO 2024）	防爆形ゲートウェイ 防爆形 振動センサ 防爆形タッチパ ネルPC	579
(有)辻与製陶所	やきものワールド 2025	肥前吉田焼	700
TEWOFURU	東京インターナショナル・ ギフト・ショー	バラ茎を使った、ペン及びアク セサリー雑貨	80
(株)唐津プレシ ジョン	JIMTOF2024	LT-1（CNC 旋盤）、GSV-18S（歯 車加工機）	700
(株)西村鐵工所	POWTEX _2024_第 25 回国際 粉体工業展東京	I B コンベア、C D ドライヤー	570
イイダ靴下(株)	FaW_TOKYO_ファッションワール ド 東京	ふくらはぎ着圧ポーター	700
(有)ミルン牧場	① Food EXPO Kyushu ②第 19 回 地方銀行フード セレクション	低温殺菌・ノンホモゲナイズド 製法により製造した佐賀県産 牛乳及びその他製品	170
(株)香蘭社	第 10 回 エンディング産業 展	骨壺	153
合 計			6,803

② 取引あっせん支援

県内外の発注企業及び県内の受注企業に関する調査の実施や情報提供、取引あっせん、商談会の開催、展示会（機械要素技術展）への出展支援等を実施し、県内企業の取引拡大を図った。

ア 取引あっせん状況

登録企業数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立金額 （千円）
発注	受注			
201	405	218	40	16,082

イ 佐賀県受注企業名簿作成（令和 6 年版）

ウ 発注開拓調査 年2回（九州合同）

エ 展示会・商談会の開催

○商談会開催・参加支援 4回（県内参加企業 延べ92社）

・「製造技術マッチングフェア」（令和6年7月、北九州市、参加16社）

・「第1回佐賀県受発注商談会（対面）」

（令和6年7月、佐賀市、参加27社）

・「第2回佐賀県受発注商談会（対面）」

（令和6年11月、佐賀市、参加30社）

・「第3回佐賀県受発注商談会（対面）」

（令和7年2月、佐賀市、参加19社^{*}）

※当日悪天候により参加企業は減少。（当初参加予定企業数：29社）

○展示会出展支援 5回（県内参加企業 延べ28社）

・「中小企業テクノフェア」（令和6年7月、北九州市、参加3社）

・「第2回機械要素技術展出展九州」（令和6年12月、福岡市、参加4社）

・「モノづくりフェア」（令和6年10月、福岡市、製品展示7社）

・「SEMICON Japan 2024」（令和6年12月、東京都、参加5社）

・「第38回ネプコンジャパン」（令和7年1月、東京都、参加8社）

オ 下請かけこみ寺事業

下請取引に関する様々な問題を抱える県内中小企業者等の相談に応じ、問題解決に向けてのアドバイス等の支援を行うとともに、「下請振興法」、「下請代金等遅延防止法」等の周知や、「下請かけこみ寺事業」の周知活動を行った。

・相談件数 36件（うち無料弁護士相談8回）

◇主な経費の内訳：補助金、展示会出展費、職員旅費

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	補助金採択件数	10件	14件
	取引あっせん件数	120件以上	218件
	下請かけこみ寺相談件数	10件以上	36件
成果指標	取引成立件数	40件以上	40件
	本事業で出展した展示会等での新規取引先獲得	3件	1件

【評価】

県内での商談会開催、九州合同商談会等の活用、県内外発注企業への訪問による発注案件の掘り起しにより、県内中小企業のさらなる取引の拡大につなげることができた。

(2) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（生産性改善・高度化補助事業）

[25,002,382円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

県内ものづくり中小企業が行うDX、GXに資する事業であって、設備の高度化や生産環境の改善を実施し、生産性向上による経営安定化を目指す取組を支援する。

【実績】

ものづくり事業者が行う、DX又はGXの実現に貢献する取組であって、かつ、新規設備導入や設備更新、システム導入等による生産性向上につながる事業に要する経費を補助した。

区分	企業名	概要	補助金額 (千円)
DX	武井電機工業(株)	3D エミュレータと VR システム導入による仮想試運転の実現	5,000
	山口産業(株)	縫製工場のDX化による作業環境の改善に取組み生産性高度化を図る	5,000
	(株)テイスティフーズ	冷凍おにぎり製造における機械導入による生産性向上	5,000
	小吉プレス工業	生産デジタル化の一步“一貫加工”による一社取引依存からの脱却	5,000
	理研農産化工(株)	食品工場自動倉庫へ eAWC4 システム導入	2,667
GX	(株)まるきん	改良型 8 軸塗装機の導入による塗装生産性向上と作業環境改善	2,333
合計			25,000

◇主な経費の内訳：補助金

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	補助金採択件数	5 件	6件
成果指標	5 年以内に採択企業の付加価値額 5 % 向上	—	令和 2 年度採択企業 9 社中 5 社達成

【評価】

DX 又は GX に貢献する取り組みを通じて生産性改善・高度化を目指す県内ものづくり企業 6 社に対し、生産設備の更新や新規設備の導入等に要する経費を補助することで売上拡大や生産コストの削減による利益の増大へ寄与出来た。

(3) 設備貸与事業 [2,318,144 円 : 佐賀県貸付金・自主]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

小規模事業者等（創業者を含む）の設備近代化のための設備投資を支援し、経営基盤の強化を図る。

① 旧設備貸与事業

小規模企業者等設備導入資金助成法（昭和 31 年法律第 115 号）が平成 25 年 3 月 31 日で廃止されたことに伴い、平成 27 年 3 月 31 日をもって新規の割賦販売又はリース（賃貸）を終了し、以降は債権管理（3 件）を行っている。

② 新設備貸与事業

平成 27 年 4 月 1 日より、独立行政法人中小企業基盤整備機構法に基づき、小規模企業者及び創業者で経営の革新を図るため、必要な設備の導入の促進のため、佐賀県から資金を借り受け、新たに導入する必要のある設備を当公益財団が代わって購入し、長期の割賦販売又はリース（賃貸）を行ってきた。

平成 30 年 3 月 31 日をもって新規の割賦販売又はリース（賃貸）を終了し、以降は債権管理（令和 8 年終了：4 件）を行っている。

(4) 現場力向上・デジタル導入支援事業 [28,683,276 円 : 佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

県内ものづくり中小企業の現場改善支援、経営分析、事業計画策定等の支援、及び勉強会・セミナー等を実施し現場力の強化、経営の安定化を図る取り組みを支援する。

【実績】

県内中小企業の現場力向上や生産性の向上等を目的に、6 名の専門員が企業を訪問し、現場改善に対する実地の支援や、県内中小企業全体の底上げのため、専門的なセミナーの開催等を実施した。

① 専門員による支援先支援内容

No.	企業名	支援内容
1	(株)一新堂	工程の自動化支援
2	(株)大橋	案件管理、在庫低減活動支援
3	南田産業(株)	事業計画策定・管理、工程改善支援
4	(有)サガ・ビネガー	ペーパーレス化、工程改善支援
5	(有)桜月堂	4 S 活動、工程改善、ペーパーレス化支援
6	宮崎鉄工(株)	作業の標準化、工程改善支援

No.	企業名	支援内容
7	(株)リードうさ	工程改善支援
8	大坪産業(株)	5 S活動支援、I S O関連支援
9	(株)ルミナス佐賀	不具合対策、自動化支援
10	吉田刃物(株)	加工品の自動カウントと工程進捗の見える化支援
11	(株)江藤製作所	5 S活動支援
12	(株)荻野製作所	工程改善支援
13	(株)西村鐵工所	I S O関連支援
14	共立エレクトクス(株)	認証取得支援
15	種商(株)	工程改善支援

②「現場力向上」のために実施した9回のセミナー

No.	テーマ	講師	内容	参加者
1	展示会での営業で成果を出す！セミナー	展示会営業マーケティング(株) 清永 氏	展示会出展において、効果的な営業活動の方法など	5名
2	デジタル導入セミナー	よろず支援拠点 黒木 CD	デジタルツールの導入・活用事例の紹介	12名
3	工場です使えるデジタルツール活用セミナー	よろず支援拠点 向井 CD	製造現場で利用できるデジタルツールの活用事例の紹介	23名
4	なぜなぜ分析セミナー	クオリゲート(同) 市原 氏	開発や製造で発生する品質・設備不具合の原因を究明する手法等	22名
5	CAD/CAM 入門セミナー・加工条件最適化セミナー	キャムタス(株) (株)牧野フライス製作所	CAD/CAM の基礎知識から活用方法、切削温度と工具材料特性等を紹介	8名
6	決算書の読み方セミナー	よろず支援拠点 松重 CD	決算書の基礎知識や、業務への活かし方について学ぶ	18名
7	図面の読み方入門セミナー	ジン・コンサルティング 西村 氏	J I Sに基づく図面のルールを基礎から学ぶ	43名
8	ISO 9001 入門セミナー	(一財)日本品質保証機構 I S O九州事務所 石丸 氏	ISO9001 認証取得を目指す企業または取得済の企業の担当者向けに基本的なポイント等を紹介	11名

No.	テーマ	講師	内容	参加者
9	測定工具の取り扱いセミナー	(株)ミットヨ 福岡営業所 柳別府 氏	マイクロメーターとノギスの正しい使い方について学ぶ	20名

◇主な経費の内訳：人件費、リース料、セミナー開催経費

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	現場力改善・デジタル導入支援を希望する企業への訪問ヒアリング	50件	60件
	現場力向上・デジタル導入支援企業	15社	15社
	県内ものづくり企業の従業員のレベルアップを目的としたセミナー等	9回	9回
	セミナーへの参加者	60人	162人
成果指標	支援企業において、支援前と比較して改善した企業	6社	12社
	セミナー参加者の満足度	80%	92%

【評価】

県内企業が持つ様々な課題に対して、伴走型の支援を実施することで、生産現場の効率化と収益性の向上を図り、他社との競争力強化に貢献することができた。また、専門技能の向上などに関するセミナー等により、参加者にもものづくりに対する新たな気づきや発見を与えるなど、人材育成等にも貢献した。

(5) 中小企業等外国出願支援事業 [4,008,000円：国補助金・自主]

《担当部署：知財支援課》

【目的】

特許等知的財産権の外国出願に要する費用の一部を補助することにより、県内中小企業の海外事業展開を支援する。

【実績】

外国への事業展開等を計画している県内中小企業者等の特許等外国出願に対して支援を行った。

○支援件数 6企業6件（特許3件、商標3件）

企業名	種別	件数	補助金額 (千円)
(株)E x t e n D	特許	1件	1,500

企業名	種別	件数	補助金額 (千円)
農業生産法人グレイスファーム(株)	特許	1件	422
(株)ルネシス	特許	1件	1,315
(株)アルフデザイン	商標	1件	283
西海製薬(株)	商標	1件	111
園田総合ホールディングス(株)	商標	1件	106
計6企業		計6件	3,737

【指標】

- 活動指標：補助金採択件数 目標 7件（特許 2件、商標 5件）
実績 6件（特許 3件、商標 3件）
- 成果指標：県内企業の海外進出、延べ国数目標 10か国に対し、実績 11か国となった。

【評価】

昨年度より申請件数が多く、国に対して計画変更申請（追加予算要求）を行い、特許 3件（4か国）、商標 3件（7か国）の外国出願を支援でき、県内中小企業等の海外への事業展開に寄与するとともに、企業経営力の強化に貢献できた。

（6）佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業 [9,413,733 円：佐賀県委託料] 《担当部署：総務企画課》

【目的】

県内で事業化を考え創業、経営革新、新分野進出等を目指す個人、中小企業者等が研究開発、販路開拓等の用に供するため、貸研究開発室、貸研修室を設置し、研究開発や人材育成の環境を整える。

【実績】

① 研修室貸出

- ・第1研修室利用承認件数 150件
- ・第2研修室利用承認件数 74件
- 計 224件

② 研究開発室貸出

- ・入居貸出件数 4件（年度末時点 3件）

◇主な経費の内訳：保守管理料、光熱水料費、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	研究開発室利用室数	全 5 室	4 室
	研修室年間利用件数	170 件	224 件
成果指標	利用者満足度	95%以上	98%

【評価】

設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を行い事業活動環境の整備に寄与した。

令和 6 年度の研修室利用は 224 件（前年比 128%）と増加しており、管理運営における環境整備等により、近年でも増加傾向にあり、利用者満足度も維持している。

3 県内中小企業の福利厚生の実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）

（1）中小企業勤労者福祉サービスセンター事業

[30,371,535円／受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

【目的】

事業所における人材確保や定着化に寄与し、企業活動の維持・向上を図るとともに地域経済の活性化に資することを目的とする。

【実績】

① 会員の状況

令和7年3月末時点で、事業所数220社、会員数2,263名であり、昨年度末の事業所数228社、会員数2,350名に比べ、8事業所減少し、会員数87名の減少となった。

事業対象：中小企業事業主及び当該中小企業の従業員（会員制）

② 事業実績

今年度の利用者数は6,122名（昨年度比1,264名増）、助成金額11,568千円（前年度比1,516千円減）となった。

ア 健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に助成を行った。

助成者数延べ1,066名、助成額3,429千円

インフルエンザ予防接種の助成は、前年度599人に対して今年度は534名に助成を行った。

イ 自己啓発事業

各施設を訪問し、サービスセンターの事業内容等を説明し、自己啓発事業を積極的にPRしたが、利用がなかった。

助成なし

ウ 余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、宿泊施設やレジャー施設等の余暇活動にかかる費用等に助成を行った。

助成者数延べ3,327名、助成額6,206千円

エ その他事業

スポーツ観戦や食事券等の格安価格での販売、福袋企画等を行った。

今年度は、地元開催のスポーツ観戦で、多数の利用があった。

助成者数延べ1,789名、助成額1,933千円

◇主な経費の内訳：助成事業費、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標		実 績	
		事業所数	会員数	事業所数	会員数
活動指標	会員事業所数・会員数	10社増	55名増	8社減	87名減
成果指標	会員満足度	90%以上		96%	

【評価】

令和6年度は、コロナ禍以前には戻っていないものの、宿泊施設利用補助や飲食店利用補助等が伸びた。既存の会員からの評価を得ている一方、利用頻度の低下と会員の高齢化などを理由に事業所の脱退や会員の退会が目立った。

4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）

（1）共済給付事業 [5,010,000円／受取会費]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

【目的】

（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会の共済制度を活用し、県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を目的とする。

【実績】

① 会員数 146 社、1,350 名（令和7年3月末現在）

② 給付件数 359 件、給付額 4,122 千円

●出生祝金	30 件	300 千円	●入学祝金	99 件	990 千円
●結婚祝金	21 件	420 千円	●勤続祝金	122 件	1,465 千円
●傷病保険金	16 件	320 千円	●住宅保険金	0 件	0 千円
●成人祝金	6 件	60 千円	●還暦祝金	23 件	230 千円
●死亡弔慰金	41 件	287 千円	●死亡保険金	1 件	50 千円
●障害保険金	0 件	0 千円			

◇主な経費の内訳：助成事業費、人件費

【指標】

区分	項目	目標		実績	
		事業所数	会員数	事業所数	会員数
活動指標	会員事業所数・会員数	10 社増	55 名増	8 社減	87 名減
成果指標	会員満足度	90%以上		96%	

【評価】

会員が各種共済給付を受けることにより、県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定が図られた。

5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

【事業の趣旨】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援等を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する。

【公4個別事業の内容】

（1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業

[674,169,208円：佐賀県委託料等]

【目的】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターを運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究を支援するとともに、光源とその利用に関する研究開発を行い、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する。

【実績】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの指定管理者として、設置目的である「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興」の実現に向けて、施設設備の管理や貸与、企業・大学等が行うシンクロトロン光を利用した研究開発の支援、シンクロトロン光の光源とその利用に関する研究開発、諸活動によって得られた知見等の成果普及を行った。

① 施設貸与・利用支援

施設の県内産業利用を推進するため、県有ビームラインのユーザーサポートや県内・外への利用促進活動を行った結果、利用実績は、表1のとおりとなった。

ユーザーの施設利用に当たっては、関係法令の遵守、放射線防護体制の整備に努め、施設利用者の放射線障害の発生防止、施設の安全管理に努めた。

表1：県有ビームラインの利用実績

区 分	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	件数	時間数	件数	時間数	件数	時間数
全 体	166 件	2,890.0 時間	170 件	2,781.5 時間	153 件	2,872.0 時間
うち県内利用	60 件	1,009.5 時間	43 件	778.5 時間	48 件	848.0 時間

※令和6年度は蓄積リング主要電磁石電源更新工事に伴い1月をシャットダウンしたことにより、ユーザー利用が令和4年度より11日間、令和5年度より8日間短くなっている。

<主な利用促進活動>

○産業利用コーディネータ事業

産業利用コーディネータ3名を雇用し、県内企業訪問や利用課題の発掘、課題解決支援を行いながら、県内企業等の利用促進に努めた。(②-【指標】参照)

○県試験研究機関との連携

林業試験場、果樹試験場、畜産試験場、有明水産振興センター等それぞれの県試験研究機関を訪問し、共同研究等につなげ、県内産業利用を推進した。

○その他

以下の取組みを通じて、国内の産業動向・情勢把握、職員個々の自己研鑽を図りながら、研究センターの周知及び利用を促した。

- ・各種展示会への出展参加や産学官連携機関イベントへの参加(下表参照)

表：主な展示会、イベント参加

行事名	開催地	開催日
第1回広域連携推進検討WG	佐賀県鳥栖市	6月4日
第1回 NanoTerasu 利用説明会	東京都中央区	7月18日
CIQuS 研究会 collaboration with 酪農学園大学 食品物製談話会	北海道江別市	7月24日
パワーデバイス&モジュール EXPO	千葉県千葉市	9月4日～6日
ネプコンジャパン東京展	千葉県千葉市	9月4日～6日
第30回日本木材学会九州支部大会	福岡県久留米市	9月12日～13日
第1回半導体産業展/半導体材料デバイスフォーラム	福岡県福岡市	9月25日～26日
ものづくりフェア 2024	福岡県福岡市	10月16日～18日
テクノネット久留米総会	福岡県久留米市	10月18日
第8回名古屋ネプコンジャパン	愛知県名古屋市	10月29日～31日
2024年度日本高分子学会 水素・燃料電池材料研究会	東京都千代田区	10月25日
SIIQ 会員交流会 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)	長崎県諫早市	11月1日
第2回機械要素技術展	福岡県福岡市	12月11日～13日
セミコンジャパン 2024	東京都江東区	12月11日～13日
Nano tech2025	東京都江東区	1月29日～31日
九州・沖縄地域産業技術連携推進会議 九州・沖縄地域部会総会	鹿児島県鹿児島市	2月13日
くまもと産業復興エキスポ 2025	熊本県益城町	2月20日～21日
第2回広域連携推進検討WG	佐賀県鳥栖市	2月27日

- ・県内に拠点を構える企業の県外研究開発部署や九州の大学・公設試等の訪問活動
- ・各種アンケート調査 (ユーザーアンケート調査 (5月))

② シンクロトロン光の研究・普及

シンクロトロン光の研究について、科学研究費助成事業（日本学術振興会）等の競争的外部資金を活用し、試験研究を推進した。

普及については、専門学会等での発表や講習会、視察・見学受入を通じた若手研究者の人材育成、大学での講演、一般向けには、年1回の一般公開、県主催のイベントを活用し、普及啓発を図った。

<人材育成>

○講習会：

行事名	会場	開催日	参加者数
SAGA-LS での放射光実習_熊本大学	当研究センター（各 BL）	8月26日～27日	9人

※上記講習会は新規利用にも繋がっている。

○視察・見学：116件、見学者987人（以下、「広報」に詳細）

○職場体験受入：参加者1人（鳥栖市内の中学校1校）

○大学での講義：当研究センターの研究員による九州大学での講義を実施

<研究成果発信>

○研究センター主催：

行事名	会場	開催日	参加者数
第18回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会	ホテルマリターレ創世（ハイブリッド開催）	8月6日	96人

○関係機関主催：

行事名	開催地	開催日
第21回 SPring-8 産業利用報告会	東京都千代田区	9月10日～11日
第30回日本木材学会九州支部大会	福岡県久留米市	9月12日～13日
第38回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム	茨城県つくば市	1月10日～12日
2024年度量子ビームサイエンスフェスタ	茨城県つくば市	3月13日～14日
第72回応用物理学会春季学術講演会	千葉県野田市	3月14日～17日
The International Symposium on Wood Science and Technology 2025	宮城県仙台市	3月17日～19日
第75回日本木材学会大会	宮城県仙台市	3月19日～21日
2024年度第71回応用物理学会春季学術講演会	東京都世田谷区	3月22日～25日

<広報>

○一般公開：一般を対象に実験ホール見学ツアー、科学体験ワークショップなどのイベント実施

・令和6年9月28日実施、参加者198人

○視察・見学：企業や学校（高校・大学、高専）の教員・生徒、地域向けに施設概要の紹介

・随時受け入れ 116 件、見学者 987 人

○その他：プレスリリース、ホームページを活用した情報発信、メルマガ、年報、広報誌、県主催イベント（ものスゴフェスタ）を活用した科学体験、ポスター啓発

◇主な経費の内訳：人件費、利用支援・促進費用（試験研究、イベント実施等）、施設維持・運転費用（保守管理、光熱水費等）

【指標】

1 活動指標：

①県有ビームライン利用の確保（施設の利活用と利用事例の創出）

項目	目標	実績	評価
利用件数	160 件	166 件	達成
利用時間	3,000 時間	2,890 時間	未達成 ・機器整備による実験効率化 ・ユーザーの利用効率化による 1 件当たりの利用時間数の減

②産業利用コーディネート活動（県内利用の確保）

項目	目標	実績	評価
県内の企業・公設試・大学等延べ訪問件数	100 件	114 件	達成 ・訪問先で、49 企業・機関
県内利用件数	50 件	58 件	達成 ・内訳：大学 28 件、企業 19 件、公設試等 11 件
県内の企業・公設試の新規課題利用件数	5 件	7 件	達成 ・内訳：包括利用 1 件、産業利用 1 件、一般利用 2 件、共同研究 3 件

2 成果指標：

目標	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・シンクロトロン光を活用した産業利用事例の創出 ・次世代のモノづくりにつながる先端技術や新製品の研究・開発を行う企業等の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県公設試等と共同研究や課題解決に対する取り組みを行っており、引き続き産業界や大学等と連携して、課題を科学的に解明した。 ・農業・食品分野で大学・公設試との共同研究を通じ、県内貢献を図った。

6 農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援 (公5)

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

【事業の趣旨】

地域産業の振興を図るため、県産品（農林水産物、加工食品等）を扱う県内中小・零細事業者等を支援して県産品の販売を促進する。

【事業の構成】

本事業は次の事業から構成される。

- 1 県産品情報発信力強化事業
- 2 県産品情報発信拠点運営事業
- 3 さが園芸 888 マッチング支援事業
- 4 大都市圏販売力強化支援事業
- 5 物産振興支援事業
- 6 県産品 PR・販売促進事業
- 7 輸出開拓・促進事業

【公5個別事業の内容】

(1) 県産品情報発信力強化事業

[35,386,779 円／佐賀県補助金]

【目的】

佐賀県産品の販売促進を目指し、大都市圏の一般消費者をメインターゲットとして、継続的に情報発信を行うことにより県産品の認知度及び評価の更なる向上を図る。

【実績】

① メディア等による情報発信

佐賀県産品の認知度および評価向上を図るため、HP や SNS、メディアを活用した情報発信を行った。

県産品ファン（いわゆる“さが推し”）に対する横断的かつ継続的な県産品購入促進につなげるため、LINE ミニアプリの運用を実施した。

また、SNS「さがぴん」を活用して、リアルイベントと連携したプロモーション等を実施し、「さがぴん」の新規及び既存ユーザーに PR を行って、佐賀県産品の認知度・関心度・購入意欲の向上を図った。

○HP や SNS などを活用した情報発信

定期的な商品紹介やイベントの投稿と合わせて、sagair、SAGA MADO 等の商品訴求のためのプレゼントキャンペーンを計 2 回実施。

SNS「さがぴん」のフォロワーは X6.5 万人、Instagram26,791 人、TikTok8,577 人、また、LINE ミニアプリ「さが推しポイント」の友達登録者数は 3,470 人となった。

公社発信のプレスリリースをリリース配信サービス「PRTIMES」を通じて29本配信を行い136件の媒体（ウェブ93件、新聞28件、テレビ7件、ラジオ4件、雑誌4件）に掲載された。

② 情報発信力強化支援

県内事業者の情報発信力強化を狙った伴走型支援を実施した。

○情報発信力強化講座を開催

○東京ギフトショーへの出展（2025年2月12日～14日）

出展企業：5社

商談件数：38件、成約件数：12件

名刺交換数246件

◇主な経費の内訳：委託費、出展料、旅費 等

【指標】

区分	項目	目標	実績
成果指標	PRTIMES 経由の記事掲載	120件	136件
	ホームページPV数	7万8千PV年	11.1万PV
	さがびん SNS フォロワー	6,000人増	9,287人増
	LINE 友達登録数	500人増	2,128人増

【評価】

- ① SNS へ投稿する動画について、トレンドを踏まえた構成等、様々な工夫を行うことにより、目標を大幅に上回るフォロワーを獲得でき、県産品についての情報発信・認知度向上に繋げることが出来た。
- ② 各事業者へ情報発信力を強化する伴走支援を提供し、ギフトショー出展までサポートすることで多くの商談につながった。

(2) 県産品情報発信拠点運営事業 [65,287,484円／佐賀県補助金・手数料他]

【目的】

コムボックス佐賀駅前の観光・県産品情報発信拠点「SAGA MADO」に、地元客をはじめ、観光客やビジネス客等呼び込むことと併せて、上質な県産品に触れてもらうこと、県産品や観光資源など佐賀県の情報に触れてもらうこと、それらの情報を広く発信してもらうことにより、「佐賀県」の県産品をはじめとする認知度及びプレゼンスの向上を図る。

【実績】

観光・県産品情報発信拠点「SAGA MADO」では、令和6年度の来場者延べ人数は、216,667人に達した。

- ① 県産品の加工食品や工芸品を厳選し販売・展示
 - ・取引事業者 153 社、取扱商品 約 1,000 種類を販売・展示
- ② 県産品の POP UP や PR イベント等の実施
 - ・店舗での POPUP・イベントを 23 回開催
 - 店舗でのイベント（鹿島フェア／S-1 アワード POPUP／小城羊羹 POPUP／ら・かんぱねら公開記念「佐賀海苔 POPUP」／ブラッシュアップお披露目会／他 18 件）
- ③ 各種メディアの露出
 - ・メディア記事～テレビ 1 件、新聞 15 件、WEB メディア 465 件
 - ・SNS（Instagram・X・Facebook）での情報発信
- ④ AI カメラ連動レジ等のデジタル技術を活用し、県産品の各事業者へアドバイスを含めたフィードバックを実施

◇主な経費の内訳：委託費、負担金、ソフトウェア等保守料 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	SNS での情報発信件数	650 件	461 件
	事業者へのフィードバック数	100 件	116 件
成果指標	SAGAMADO の利用者数	600 人／日	597 人／日
	SNS フォロワー数	3,700 人	5,012 人

【評価】

利用者数の目標を下回ったものの、SNS での情報発信や POPUP・イベントの開催により、県産品の情報を広く発信することができた。

（3）さが園芸 888 マッチング支援事業 [14,670,033 円／佐賀県補助金]

【目的】

さが園芸 888 運動と連動し、園芸生産者と実需者や消費者との懸け橋となるマッチングプロジェクトに取り組み、新規栽培や面積拡大に対応した販売先の確保（出口対策）、高単価での取引の推進を図る。

【実績】

① 加工・業務用野菜のマッチング支援

園芸生産者と実需者や消費者とのマッチングに向け、新規企業の開拓・訪問を中心に行い、計 20 社と商談・面談を実施した。

また、玉ねぎ・レンコン・ブロッコリー、キュウリの各作物グループに対して商社等との商談において、サポートを実施した。

- ・商談件数：20 件
- ・参加事業者数：11 社
- ・成約件数：8 件

② 唯一無二こだわりの野菜等マッチング支援

・食べチョク生産者支援キャンペーン

生産者 15 名に対して、食べチョクへの生産物の出品サポートに加え、個別アドバイスや都内マルシェでの佐賀県産品の魅力発信、食べチョクサイト内での 500 円オフクーポンやレビュー投稿キャンペーンなどを実施した。

◇主な決算の内訳：委託費、旅費 等

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	商談件数	20 件	20 件
	参加事業者数	10 社	11 社

【評価】

新規販路の開拓に向け、積極的に企業を訪問し面談・商談を実施するとともに、成約に向けたフォローアップに取り組んだことで多くの成約に繋がった。

(4) 大都市圏販売力強化支援事業 [38,018,454 円／佐賀県補助金]

【目的】

県内事業者の企画力や商品開発力の向上、バイヤーとのマッチング機会の創出、新たなチャネル開拓及び営業フォローなどの支援を行うことにより、県産加工食品の大都市圏への販路開拓及び販路拡大を図る。

【実績】

- ① 県内加工食品メーカーのスキルアップに向け、各種セミナーを開催するとともに、専門家等のアドバイスを通じた既存商品のブラッシュアップ、販路開拓等を支援した。
- ② 首都圏、関西圏、福岡都市圏での展示商談会において、佐賀県ブースを出展し、県内加工食品メーカーと小売・卸のバイヤー等の商談機会を提供した。
- ③ 大消費地である大都市圏の量販店等で佐賀県フェア、九州フェアを実施し、県産品の販売による PR や定番化に向けた取組を実施した。

- ④ 問屋（卸売企業）の機能（営業・商品管理・物流等）を活用した県産品の提案、商談活動を行い、県内事業者の営業活動を支援した。

◇主な決算の内訳：委託費、出展料、旅費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	育成件数	5 社以上	18 社
	成約件数	1,050 件以上	1,038 件

【評価】

成約件数は目標を下回ったものの、首都圏、九州及び関西の展示会への出展や大都市圏での佐賀県フェアの実施により、県産加工食品の販路拡大に繋がった。

（5）物産振興支援事業 [3,850,802 円／佐賀県補助金・手数料他]

【目的】

百貨店、量販店等で開催される物産展等に県内事業者等を斡旋するほか、大手卸等の取引窓口として佐賀県物産品の販路拡大を図る。

【実績】

- ① 百貨店、量販店等で開催される「九州物産展」や「佐賀フェア」などの企画への積極的な提案による県内事業者の斡旋、広告媒体等による佐賀県産品の認知度向上の取組の実施
- ② 大手卸等と直接取引のできない県内食品メーカーを対象とした、取引に際しての窓口として受発注・請求・支払等の業務の実施。また、納品・請求伝票等の作成をシステム化し、事務処理の効率化を図った。

◇主な決算の内訳：旅費、通信運搬費、報償費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	物産展等のイベントや自主販売への参加	60 件	61 件
成果指標	卸先の新規取引	5 社	15 社

【評価】

県産品の販売・斡旋等の取引窓口の機能を有効活用し、県産品の販路が着実に広がった。

(6) 県産品 PR・販売促進事業 [85,280,101 円／佐賀県補助金・手数料他]

【目的】

九州佐賀国際空港にテナントショップを設置し、県産品の展示・紹介・販売、情報の提供を行うことにより、認知度向上、販売促進につなげるとともに、佐賀県のプレゼンスの向上を図った。

【実績】

国スポ・全障スポの開催もあり空港利用客も増加し、来店客数も前年度を大きく上回った。また、各種イベントや新規の取引先を増やしたことで、より幅広く県産品を紹介することができた。

○主なイベント及びフェア実績

sagair 開店 3 周年記念 (4 月)、母の日フェア (5 月)、父の日フェア (6 月)、
スイーツコーン祭り (6 月)、風鈴特集 (7 月)、お土産好適品 (8 月)、
佐賀大学生 VP 制作発表会 (9 月)、SI グランプリ受賞商品 (10 月)、
バルーン・唐津くんち特集 (11 月)、クリスマス好適品 (12 月)、
迎春・新酒フェア (1 月)、かしまマルシェ (1 月)、
ブラッシュアップ特別販売会 (3 月)

◇主な決算の内訳：商品仕入、賃料、人件費 等

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	新規取扱い事業者数	10 社	20 社
成果指標	売上目標	70,000 千円	68,189 千円

【評価】

売上目標は下回ったものの、県産品の良さや質の高さ、また、その魅力が九州佐賀国際空港を利用する方に伝わり、県産品の販売促進につながった。

(7) 輸出開拓・促進事業 [35,627,766 円／佐賀県補助金・国受託料収入]

【目的】

県産品輸出可能性等調査事業のフォローアップ等を実施し、県産品の海外への販路拡大の促進を図る。

【実績】

新規市場開拓及び商品の定番化を目指し、主に以下の事業を実施した。
また、中国や香港におけるさらなる輸出拡大、東南アジア等における新規市場

開拓及び販路拡大を図るため、現地の情報収集活動や営業活動支援等を行い、県産品の販売促進及び販路拡大に取り組んだ。

① 香港における流通レップの設置（通年）

香港レップを設置し、現地最新情報の収集、可能性調査、販路開拓、現地との関係構築、県内事業者支援の実施

② 香港日系スーパー、一田（YATA）「佐賀県フェア」の開催

県内メーカー加工品及び青果物による「佐賀県フェア」を香港日系スーパーの2店舗において開催

③ 香港市場におけるテストマーケティングの実施

販売と試食提供を行い、現地の購入者層による味、価格、商品デザインなどの意見を収集し、その結果について県内メーカーにフィードバックを実施

④ 令和6年度中国向け佐賀県産酒類等輸出販路促進拡大事業

- ・佐賀酒商談会、展示会の実施 10回（うち商談会5回）
- ・新PB商品の開発 3件

⑤ 中国華南、華東エリアにおける佐賀酒販路開拓業務委託

- ・佐賀酒商談会の実施 4回
- ・新PB商品の開発 2件

⑥ 食品加工業者のための初めての輸出挑戦セミナー（1月）

- ・輸出専門家によるセミナー、輸出プラン作成のワークショップ、個別相談を実施

⑦ 佐賀県内事業者対米輸出支援事業

- ・アメリカ食品医薬品局（FDA）への施設登録取得代行、商品表示ラベルの英文翻訳、食品安全計画書作成サポート、県内事業者への支援を実施

◇主な決算の内訳：委託費、フェア開催費、旅費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
成果指標	新規輸出入事業者の発掘	3社以上	3社： 香港テストマーケティング 3社の試食及び販売を行った。
成果指標	新規参入（新品目含む）を達成する県内事業者数	8件以上	8件： 佐賀県フェア参加事業者のうち 1商品が新規参入、テストマーケティング実施事業者 3事業者、中国向け日本酒 4業者（PB商品を含め）新規輸出。

【評価】

輸出可能な品目があった国・地域に対して、実際に商品を流通することになる輸出入事業者を目標通り確保できたことで、今後さらに品目や商品数を拡大していく上で必要となる関係性が構築できた。

また、テストマーケティングの商品についてのフィードバックをもらい、それを事業者に伝達することで輸出取組みへの意欲を醸成し、今後新しい海外向け商品開発のきっかけとなった。

7 その他県産品販売支援に関する支援（他2）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

【他2の個別事業の内容】

（1）協議会と連携した販売促進事業 [5,584千円*／自主・佐賀県補助事業]

県産品の販路開拓、情報発信など販売促進について、関係協議会（県・市町・関係団体等）等と連携、協力して推進するとともに、協議会事務局の運営を行った。

※上記決算額は当該協議会自体の決算額は含まず、事務局運営に係る人件費等。

① 佐賀県農林水産物等輸出促進協議会

【目的】

海外市場における佐賀ブランドの確立に取り組み、高品質な県産農林水産物等の輸出促進を図る。

<構成団体>

農業団体、関係市町、県、当財団 等 12機関 事務局：当財団、県

【実績】

ア. 産地PR・海外バイヤーの招聘

○海外の輸入業者や販売店舗関係者、国内の輸出業者等の招聘

イ. 海外販売促進活動

○海外の小売店、飲食店等でのプロモーション

○販促資材の作成

○トラム広告

○見本市等での試食宣伝PR活動

ウ. 海外市場開拓調査

エ. 輸出人材育成研修

オ. 佐賀牛の米国日本国大使館での現地プロモーションなど

【評価】

KAKEHASHI が対米認定を取得したことにより、本格的に対米輸出を始め、関係団体と連携しながら現地における販促活動や海外シェフ等の招へい事業を実施したことにより、現地関係者とのコミュニケーションを密にできた。

② 佐賀県酒類輸出促進協議会

【目的】

海外市場における佐賀酒ブランドの確立に取り組み、高品質な佐賀県産酒類類の輸出促進を図る。

<構成団体>

佐賀県酒造組合、県、ジェトロ佐賀、佐賀県商工会議所連合会、
佐賀県商工会連合会、当財団 計6機関 事務局：当財団

【実績】

ア. 海外販売促進活動

- 海外の展示会、見本市、小売店、飲食店等での試飲宣伝PR活動
- 販促資材の作成
- 海外レストラン等の酒バイヤーを対象とした試飲会・商談会の開催

【評価】

協議会独自で台湾のホテルにて13蔵が出展する「佐賀酒試飲商談会 in 台北2024」を実施し、一般消費者及び飲食関係者、インポーター、一般消費者等への試飲・商談を行ったことで、佐賀酒の認知度向上及び販路拡大につながった。

なお、県内酒蔵と現地卸とのコネクションの強化や新たな販路開拓、組合及び各蔵の海外における商談や販路開拓のノウハウ・スキルが構築できたことなど、協議会としての当初の目的を概ね達成したため、令和6年度をもって当協議会を解散し、各蔵の意向に沿った組合の自発的な動きに合わせた支援を行っていくこととなった。

8 収益に関する事業（収1）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

【事業の趣旨】

ふるさと納税に関する事業及び農林水産物、加工食品等県産品の販売事業により収益向上を目指した。

【事業の構成】

本事業は次の事業から構成される。

- 1 ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業

（1）ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業

[18,430,435円／売上等収入]

【目的】

県のふるさと納税の返礼品に関わる受発注業務や、事務所等における県産品の販売を通し、収益の向上を目指す。

【実績】

① 佐賀県ふるさと納税お礼の品の管理発送等に関する事業

ふるさと納税制度を利用した寄付者に対し、お礼の品（県産品）の受発注から商品到着までの管理確認及び支払業務等を行うとともに商品開拓、PR業務も行った。

○令和6年度実績：寄付額 30,753,001円
受取手数料収入 2,367,981円

② 県産品の販売に関する事業

さが県産品流通デザイン公社の事務所内において県産品の販売を行った。

○令和6年度実績：商品売上等収入 15,164,446円

◇主な決算の内訳：人件費、商品仕入 等

【指標】

区分	項目	目標	実績
活動指標	ふるさと納税取扱い事業者を増加	10社	13社
成果指標	ふるさと納税額の増加による手数料収入	増加	209千円減

【評価】

事務所内での販売は堅調に推移し、収益拡大に貢献した。ふるさと納税においては、事業者への営業強化や寄付額の高い返礼品の追加などの取組を実施したものの、主力返礼品の品切れにより寄付額が伸び悩み、委託手数料収入の成果指標は未達であった。

第3 庶務事項

(1) 理事会

年月日	内 容		
R6. 4. 1	第1回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	副理事長(業務執行理事)の選任の件 事務局長選任の件
R6. 6. 3	第2回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	評議員候補者の推薦の件 評議員会の召集の件
R6. 6. 6	第3回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案	令和5年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件 令和6年度事業計画及び収支予算の変更の件 定款変更の件 評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程改正の件 公益目的事業等の変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件 評議員会の召集の件
R6. 6. 24	第4回理事会	第1号議案 第2号議案	代表理事及び業務執行理事の選定の件 重要な使用人の選任及び理事に使用人職務を委嘱する件
R6. 7. 1	第5回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	理事追加に伴う理事推薦の件 評議員会の召集の件
R6. 7. 4	第6回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	さが産業ミライ創造ベース担当業務執行理事選定及びCOOとして重要な使用人選定の件 令和6年度事業計画及び収支予算の変更の件
R6. 8. 26	第7回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	評議員及び監事候補者の推薦の件 評議員会の召集の件
R6. 9. 26	第8回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	評議員及び監事候補者の推薦の件 評議員会の召集の件
R6. 10. 3	第9回理事会 (書面)	第1号議案	令和6年度事業計画及び収支予算の変更の件
R7. 3. 5	第10回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案	令和7年度事業計画及び収支予算の件 一時借入金最高限度額の件 役員等賠償責任保険契約の件 評議員会の召集の件
R7. 3. 6	第11回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	令和6年度事業計画及び収支予算の変更の件 理事候補者の推薦の件

(2) 評議員会

年月日	内 容		
R5. 6. 6	第 1 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員の選任の件
R6. 6. 24	第 2 回評議員会	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案	令和 5 年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件 令和 6 年度事業計画及び収支予算の変更の件 定款変更の件 評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程改正の件 評議員の任期満了に伴う改選の件 理事の任期満了に伴う改選の件 監事の任期満了に伴う改選の件
R6. 7. 3	第 3 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	理事追加に伴う理事選任の件
R6. 9. 1	第 4 回評議員会 (書面)	第 1 号議案 第 2 号議案	評議員選任の件 監事選任の件
R6. 10. 1	第 5 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員選任の件
R7. 3. 24	第 6 回評議員会	第 1 号議案 第 2 号議案	令和 7 年度事業計画及び収支予算の件 理事選任の件